

●1月上映作品について 「世界でいちばん美しい村」

本日は「世界でいちばん美しい村」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。この映画は、去年の1月にその存在を知り、自主上映の願いを連絡したのが最初。なので、思えば結構長い月日がかかっています。石川監督も初監督作品で、配給に関しても手探りの状態だったようで、あまりご迷惑をかけたくないなと思いつくを見守っておりました。初めて観ることができたのは、去年6月、香川の「CA」さんでの上映会。そのころには、自主上映のアナウンスも開始されてましたので、日程を合わせて無事今日の上映会を迎えることができました。実は石川監督も空いてたら来高したいなとおっしゃっていたのですが、幼少期を過ごした別府での上映が同じ日に決まり、今日はそちらで舞台あいさつをされている模様です。告知に関しては、ネパール料理のお店「AAMA(アーマ)」さんや、文房具などを届けてネパールの支援を行っている「ヒマラヤンオーガニック」さんにご協力いただきました。高知でもネパール料理店はないので、最近まで7店舗ほどあつたようですが、私がチラシを持って回った際営業されていたのは、前述の「AAMA」さんと「みと」さんだけ。高知でネパール料理というのなかなか厳しいようです。



主役のアシュバドル君とお父さん。

その他、インド料理の「リタ」さんもネパールの方が働いており、快く告知にご協力いただいております。皆さんぜひ、お店に食べに行きましょう！ヒマラヤンオーガニックさんの支援活動や、来週「AAMA」さんで行われるイベントに関しては、ぜひチラシをご確認ください。今日はネパールの方たちが、近い存在と感じられるような上映会になると幸いです。映画をこゆっくりとお楽しみください！

●今後の上映作品について

「猫が教えてくれたこと」

3月31日〜4月1日@メフィストフェレス
「YARN 人生を彩る糸」

3月上映する「猫が教えてくれたこと」。もうチラシを置いたその日から予約が入るなど、皆さんの注目度の高さがうかがい知れる作品です。そして、ゴトゴトシネマで常連さん及び、告知にご協力いただいているゴトゴトフェリスの「猫好き」度の高さに驚かされています。年配の意外な方から「実は猫好き」の報告が入ったりして、同じく最近おおつぴらに語ってなかった「実は猫好き」ゴトゴトシネマとしても、「ブルータスお前もか」ばりの共感を抱いておられます。世の猫好きおじさんカミングアウトの日が来ましたぞ！登場する7匹の街猫のみならず、その猫たちを適度な距離感でやさしく見守るイスタンブールの猫好きさんたちのエピソードも魅力的な作品です。お好きな方もそうでない方も、ぜひご参加ください！

4月は編み物をテーマにした、これまた異色のドキュメンタリー「YARN 人生を彩る糸」。昨年の12月に封切られ、東京をはじめ各地で話題になっている作品です。登場するのはポーランド、スウェーデン、アイスランド、日本出身の編み物アーティストと団体。それぞれの方、作品がユニークで面白いのですが、中でも日本人の堀内紀子さんの発想、コンセプト、作品が秀逸で、印象に残ります。各人編むスピードがものすごく早く、家でも街でも船の上でも編み編みし続けます。編み物の好きな方は、観ながら自然に手が動いてしまつたまま1本ではないでしょうか？



「猫」出演キャット・美食家のデマン。

ゴトゴトシネマでは映画の上映に合わせて、自然の木の枝に糸を織り込んで仕上げるアート作品「ブランチ・ウィービング」のミニワークショップを開催予定です。講師は同胞・土佐山桑尾在住の福田わかさん(桑と茜主催)。ご興味のある方は、ぜひワークショップも一緒にお申し込みください！

gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて

●ゴトシネマヒストリー vol. 5 ニューシネマ。パラダイスな桑尾公民館



定期上映会を行っていたゴトゴトシネマのホームグラウンド・土佐山桑尾公民館。

桑尾公民館でのゴトゴトシネマ第一回上映会のお話の前に、もう一つ伝えておかねばいけないエピソードがありました。

西岡恭一さんのことです。ご存知の方ももちろん多いと思うのですが、西岡さんは、橋幸夫のバックバンドをやっていた「チャーリー石黒と東京パンチョス」の名トランプベッター。

その西岡さんが、なぜか私が受けた16mmフィルム映写技師講座の先生だったのです。座の先生だったのですね。

後々知ったのですが、大の映画好きで映写機にも詳しく、故郷高知に帰った後は、県所有の映像フィルム修復のボランティアなどをやられ、その流れで映写技師講座の先生もやられているようです。で、その西岡さんはなんと土佐山・桑尾のご出身。講習会でも「土佐山のどこ？ なに桑尾かえ」というような感じで仲良くなり。昔話をいっぱい聞いたのです。

「昔はね、桑尾の公民館でよく上映会をしよう。夏は、公民館から外に向けて映写して、道の向こう側の幕に映したりしてよ。桑尾のみんなが集まってわいわい言いながら観よう。たまに車が走ってきて、車に映画がうつつたりして、面白かったぞ〜」。

なんて、まさにニューシネマ。パラダイスな展開。この西岡さんの話がインプットされていたことが、同じ公民館を使ったゴトゴトシネマ開催の種火になっていたんだな、と後から思い返したりしたものでした。ありがと〜西岡先生！

というところで何はともあれ、第一回上映は高倉健「網走番外地」に決定。チラシを作って、桑尾集落の家に一軒一軒配って回るようになりました。

(つづく)ゴトゴトシネマブログより転載)